



▲左から日向豊隊長、池田利碩副団長、安澤正美消防団長、佐々木のぼる手稲消防署長、堀内修副団長



▲消防署員指導によるロープ結束訓練



▲発隊式は、北海道工業大学で行われました



日々の訓練は怠りません
札幌市手稲消防団
山岳救助隊

区民の安全を守るために消防団が少しでも力になればとの思いから平成19年7月2日に発足した、手稲消防団「山岳救助隊」。

山岳救助を目的とした消防団としては全国初の組織で、現在24人の隊員が手稲山での遭難者や、スキー場での行方不明者が出た場合に救助に当たるための訓練を重ねています。

同隊の特色の一つは、昨年の発足時に北海道工業大学の協力により、同大学山岳部の学生12人が隊員として入団している事で、学生にとっては、消防団での活動により、地域社会の一員として貴重な体験ができ、消防団としては、若い隊員の参加で今まで気付かなかったような斬新な意見が隊の活性化に役立っています。

最近では、山菜採りや山歩きなどがブームとなっており、搜索や救助にあたる事例は少なくありません。これまでに同隊が出動した事例は発生していませんが、「我々が出動するような事がないほうがいいんです。しかし、いつでも出動できるように毎回の訓練は気が抜けません。今後も訓練を続け、少しでも区民の皆さんに安心を与える事ができるように頑張りたい」と隊長の日向さんは話してくれました。



▲真剣な表情での救助訓練



▲冬山の救助訓練

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎681-2400内線224 FAX681-6639